

---

# 岐阜県立飛騨高山高等学校

学 校 長 河 渡 正 史

学校住所 (岡本キャンパス) 高山市下岡本町2000-30 電話 0577-32-5320  
(山田キャンパス) 高山市山田町711 電話 0577-33-1060

---

- 1 会議名 令和2年度 岐阜県立飛騨高山高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和2年11月6日 (金)
- 3 開催場所 飛騨高山高等学校 岡本キャンパス 会議室
- 3 参加者
- |     |       |                        |
|-----|-------|------------------------|
| 委 員 | 宮下 伸一 | 高山信用金庫 理事              |
|     | 梶山 桂子 | プライベートヘアサロン憩 (美容業)     |
|     | 中川 久恵 | 責任屋商店 (靴販売業)           |
|     | 蒲 建治  | 育友会長 (全日制)             |
|     | 下田真由美 | 部活動後援会長 (通信制)          |
|     | 中田 彰  | 同窓会長                   |
| 学校側 | 河渡 正史 | 校長                     |
|     | 大塚 浩昭 | 副校長 (全日制山田キャンパス)       |
|     | 大野 貴司 | 副校長 (定時制・通信制)          |
|     | 野村 宏治 | 事務部長                   |
|     | 大森 賢一 | 教頭 (全日制岡本キャンパス)        |
|     | 奥田 寛  | 教頭 (全日制岡本キャンパス)        |
|     | 水野 泰孝 | 教頭 (全日制山田キャンパス)        |
|     | 小田 雅人 | 教頭 (定時制)               |
|     | 高野 圭  | 教頭 (通信制)               |
|     | 塚本 和幸 | 教諭 (全日制岡本キャンパス・教務主任)   |
|     | 富田 喜友 | 教諭 (全日制山田キャンパス・教務主任)   |
|     | 荒川 一弘 | 教諭 (全日制岡本キャンパス・進路指導主事) |
|     | 砂田 正明 | 教諭 (全日制山田キャンパス・進路指導主事) |
|     | 田中 一幸 | 教諭 (全日制山田キャンパス・農場長)    |

## 4 会議の概要

- (1) 学校運営協議会の設置運営及び組織について
- ・会長、副会長の紹介、協議会委員の自己紹介
  - ・開催要項の確認等
- (2) コミュニティ・スクールについて
- ・学校評議員会と学校運営協議会の違い
  - ・コミュニティ・スクールの主な3つの機能等
- (3) 各キャンパス、各課程の現状と取組
- 岡本キャンパス (全日制 定時制 通信制)
- ・オンライン授業の配信 (豪雨災害時、コロナによる休校時) <全・定課程>
  - ・修学旅行を始めとする各行事の見直し等
  - ・コロナ禍における感染防止に配慮した給食 (定時制)
  - ・学校設定科目「ジョブ・コミュニケーション」による職業観、社会性の育成

- ・「少人数コミュニケーション講座」の開設へ向けての取組（通信制）
- 山田キャンパス（全日制）
- ・学科の改編（食の農学科群・緑の農学科群）
  - ・地域との交流（原山スキー場の花時計設置、東山中学校での災害図上訓練の指導等）

#### （４）意見交換

意見１：１５回目となる「飛騨高山ふるさと企業・OB&生徒交流会」は、地域・企業・生徒による交流を継続しており、コミュニティ・スクール活動の一環として、良い取組である。体験談を話してくれた本校卒業生が、高校時代に学んだことを礎に、入社半年で立派に育っていることを誇りに思う。今年度はコロナ禍でリモート授業を実施しなければならないなど、教職員の取組の大変さが伝わってきた。

意見２：コロナや大雨等、困難な状況が続き、平時でないにも関わらず、熱心に指導していただいていることに感謝申し上げる。これから飛騨地区では労働人口の減少が予想されるが、地域は地域の人々で盛り上げていくことが大切である。今後も地元高校生の採用を積極的に進めていく。学校でも郷土愛をはぐくむ教育をお願いしたい。

意見３：自分でも何がやりたいのか分からない生徒が多く、指導が大変だろうと思う。本日のような地域や企業との交流会は、そのような生徒にとって有意義な機会である。コロナはマイナスなことばかりではなく、捉え方や見方を変えれば、よい経験とも考えられる。教職員の方々には、授業や行事の実施方法を工夫して頑張ってもらいたい。

意見４：毎日の掃除や消毒、リモートでの授業はさぞ大変だったと思う。このままあたたかく見守りながら、生徒を指導してほしい。

意見５：休業中のオンライン授業や学校再開後の取組等、十分な準備と対応をしていただき、感謝申し上げます。本校は２つのキャンパスと３つの課程を持つ大規模校であるがゆえの大きさは理解できるが、できればもう少し一体感があるとよい。本日の交流会で講師を担当したが、学科による違いや特色を感じた。

意見６：保護者が学校関係者と議論する場をもてることをうれしく思う。本日の交流会は有意義であったが、一方で集団での活動を苦手としている生徒もいる。通信制で実施している少人数コミュニケーション講座は、良い取組だと思う。協力は惜しまない。

意見７：学校行事に関係者以外が参加できる機会がない。You Tube 等で広く発信することを検討してほしい。

#### ５ 会議のまとめ

第１回目の学校運営協議会が新型コロナウイルスの影響により、書面開催となったため、今回初めて委員の皆様に来校していただいた。本校は今年度より学校運営協議会を設置したため、改めて学校評議員との違いや、学校運営協議会委員の皆様にごどのように学校に関わっていただきたいかなどをお伝えする機会をもつことができた。感染症対策の中で教育活動を進めている現状や取組の進捗状況を説明し、委員の皆様より様々なご意見やご提案をいただくことができた。今後の学校運営の参考とさせていただきたい。